

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)				区分
5	ごみ減量・リサイクル推進事業(西部環境センター維持管理事業)			(新規) 拡大 継続
会計区分	款	項	目	所管
一般会計	4	2	2	環境局 施設部 西部環境センター
事務事業の位置付け				
しあわせ倍增プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード	1103	事業名	ごみ減量・リサイクル推進事業
根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
予算要求事業の概要				
内容	溶融スラグの有効利用率向上及び最終処分場の延命化を図るため、西部環境センター敷地内に貯留施設となるストックヤード(貯留量2,400 t程度)を設置します。			
目的・目標	<p><目的> 焼却灰を溶融スラグとして無害化・減容化し、アスファルト骨材等土木資材として資源化を行っています。需要と供給のバランスが図れず埋立処理されてしまう余剰スラグの有効利用を促進するため、敷地内にスラグのストックヤードを増設し、需要期に合わせたスラグ量の確保を行い資源化を一層推進することにより、再生利用率の向上及び市内最終処分場の延命化を図ります。</p> <p><目標(平成22年度)> 溶融スラグのストックヤードの設置。</p>			
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> アスファルト骨材等への利用等の資源化を図っているが、需要期が年度末に集中するなど需要と供給のバランスが図れていません。</p> <p><課題> スラグを出荷するまでの製品(溶出)検査に約1か月が必要ですが、これをストックする余裕が十分でないため、余剰スラグとして最終処分場に埋立を行っていました。</p>			
今後のスケジュール	・平成22年10月 溶融スラグのストックヤードの設置(貸借期間 ~平成29年度)			

2 予算要求の内容と査定結果

(単位:千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	0 <積算内訳>
	財源内訳	
平成22年度	当初予算要求	10,620 <積算内訳> 1 溶融スラグストックヤードの設置【新規】 10,620 [主な内容] (1)溶融スラグストックヤード賃貸借
	財源内訳 一般財源	10,620 <要求理由> 需要期に合わせたスラグの確保を行い資源化を推進するため、敷地内にスラグのストックヤードを増設し、再生利用率の向上及び市内最終処分場の延命化を図るために必要な経費を要求するものです。
	財政局長査定	10,600 <査定内容> 1 溶融スラグストックヤードの設置【新規】 10,600 [主な内容] (1)溶融スラグストックヤード賃貸借
	財源内訳 一般財源	10,600 <査定理由> 内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、概ね要求どおりとしました。
	市長査定	10,600 <査定内容> 同上
	財源内訳 一般財源	10,600 <査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。